

かしくくカーライフを楽しむためのコミュニケーションペーパー

# Keeper Fan!!

Special Interview

## 浅野忠信さんがクルマと人生を語る

### モノも仕事も大切にすれば、きっとそれに応えてくれる。 どう格好良く乗るかを考えるのが楽しいんだ。

ハリウッド進出を果たし、映画俳優として世界で活躍する浅野忠信さん。クルマを大切に長く乗りたいという浅野さんにぴったりのクリスタルキーパーを体験していただきながら、クルマや仕事に対する価値観を伺いました。

#### クルマをどこまで大切にできるかが勝負

子どものころからクルマは大好きですね。仕事の移動はもちろんクルマだし、プライベートでも出身地の横浜や友達が住んでいる葉山の方にドライブによく行きます。若い頃からひとつのクルマに長く乗るタイプで、クルマをどこまで大切にできるかが勝負だと思っています。飽きがあると、塗装の色とかパーツやホイールを変えたりして、自分なりにどう乗るか工夫をして楽しんでいます。その方が格好良いじゃないですか。それから俺はどうしても車高を低くしたくなっちゃうんです。中学のときに免許を取った先輩が買ったハコスカに乗せてもらったんですけど、大人になったら絶対に俺はこれに乗るんだと決めたくらいすごく格好良くて。その先輩のクルマの車高が低かったんです(笑)。結局大人になってハコスカには乗ってないけれど、車高を低くして走らせると、格好良かった先輩に近づいた気がするんです。

#### ものを大切にすれば、絶対それに応えてくれる喜び

人だけじゃなくて、クルマとか、ものだって大切にすれば、それに応えてくれると思っています。友達に、ギターを毎日磨いてもものすごく大切にしているやつがいるんですけど、弾いてみるとすごく弾きやす

い。でも、大事に扱ってないギターは弾いても楽しくないんです。クルマは買い替えることができますけど、クルマを大切に買って、クルマがそれに応えてくれる喜びというものは絶対にあると思います。

#### 努力はしなくていいから、好きなことを好きなだけやる

仕事に対してもそうで、一つひとつの仕事を大切にしています。仕事を大切にすることって悪いものじゃないですよ。ないがしろにしちゃうから不満になる。真剣にやればやるほど楽しくなることを知らないからちょっとしたことで嫌になるんですよ。俺は、自分を究極のわがままだと思っています。好きなことにのめり込んでやっているだけ。それが人には真剣に見えるだけなんです。おいしいステーキをもっと食べたい! 良い音楽をもっと聴きたい! それとおんなじです。たとえ99%が与えられた仕事でも、1%自分の工夫を付け足すだけで充実感が出るし、可能性が広がっていくんだと俳優という職業を通じて実感しました。だから子どもたちには、「努力はしなくていいから、好きなことを好きなだけやれ」と伝えたいです。好きなことを突き詰めるうちに、自然に苦手な分野にもつながって好きになれると思うから。そうしたら日本は良くなるんじゃないかな。

#### メタリックなツヤが出て、クルマが本領を発揮しはじめた

今のクルマに長く大切に買って、何十年か後に「まだこのクルマ乗ってんの? 格好いいじゃん」と言われるのが夢(笑)。でも、今住んでる場所だとクルマに黄砂や花粉が点々とついてしまっていて大変なんです。それで洗車すると、次の日絶対雨が降る(笑)。洗車する意味がないじゃないかと思って、洗車は本当に汚れたときにしかしていません。今回、クリスタルキーパーをはじめて施工していただいて、そのキレイさに驚きました。研磨していないのにこれだ

けツヤとボディのメタリック感が出るのがすごい。前より格好良く見えますね! 乗り心地やスピードの他に、クルマが本領を発揮しはじめたという感じです。簡単にできて1年もつのも面倒がないので今後もクリスタルキーパーを施工したいと思います。



クリスタルキーパーを施工したスカイラインGT-Rを見ていただいた後、浅野さんご本人のクルマも別途コーティングをさせていただき、大変ご満足をいただくことができました。



浅野忠信(あさの・ただのぶ)  
1973年11月27日神奈川県出身。  
P.ラッタナルアーン監督「地球で最後のふたり」で第60回(2003)ベネチア国際映画祭コントロ・コロンテ部門主演男優賞を受賞。主演したセルゲイ・ボドロフ監督「MONGOL」は第80回(2008)米アカデミー賞で外国語映画賞にノミネートされた。2012年、ハリウッド映画出演二作目となる「バトルシップ」が公開。本格的なハリウッド進出を果たす。

